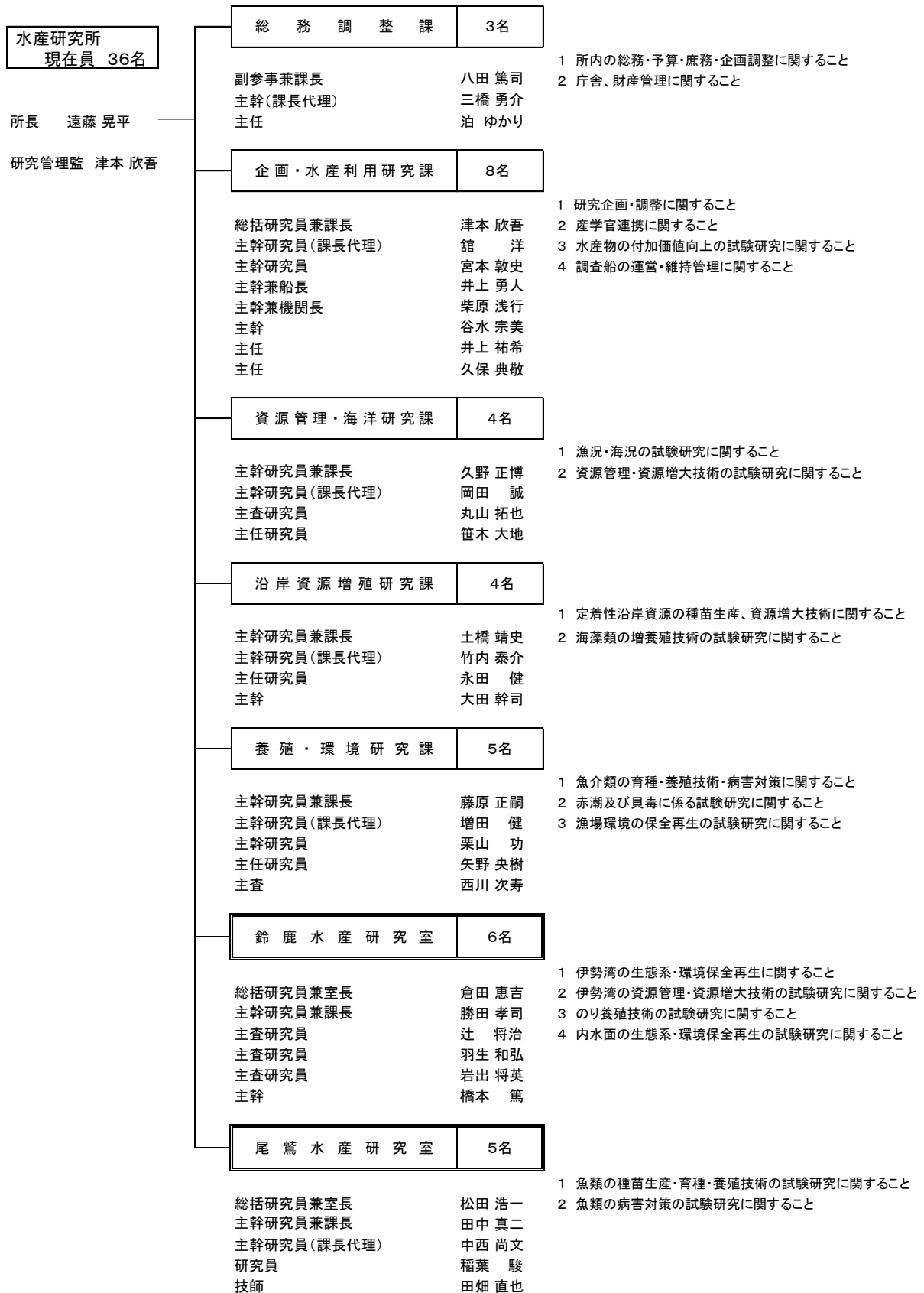


令和元年度

組織・人員配置等 事業概要

三重県水産研究所

令和元年度 水産研究所組織体制と事務分掌



令和元年度 水産研究所 事業概要

県単試験研究費

R1当初予算

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(施策 31102) 農林水産技術の研究開発と移転			
●水産関係県単経常試験研究費			
① <u>(新規)水産物付加価値向上支援事業</u>	県産水産物の生物特性や季節変動を科学的に把握して高付加価値化の取り組みを支援する。また、未利用・低利用資源の新たな活用方法を探る。	企画・水産利用研究課	R1～5
② イセエビ種苗生産・放流技術の高度化	低コストかつ安定して飼育できるイセエビの種苗生産技術および中間育成技術の高度化に取り組む。生産した稚エビの海域における行動把握のため、小規模な放流試験を実施する。	沿岸資源増殖研究課	H29～R1
③ 英虞湾漁場環境基礎調査	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市補助】。	養殖・環境研究課	H25～R4
④ <u>(新規)内水面資源活用高度化研究事業</u>	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査や、冷水病対策およびカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R1～3
⑤ 三重県産魚類養殖技術の高度化	養殖魚のさらなる品質向上・安定生産のために、餌料組成および給餌方法、脂質含量等の品質の安定化を図る養殖技術、環境変化に対応した養殖手法を開発する。	尾鷲水産研究室	H29～R1

競争的資金等外部資金

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/ 企画・水産利用研究課	H17～
② 資源・漁獲情報ネットワーク構築委託事業	伊勢湾をモデル海域とし、漁業情報(漁獲量・努力量等)を迅速に収集できる体制づくりを進めるとともに、漁獲と環境(水温等)の関連を明らかにすることで資源評価の精度向上や漁業の効率化を図る【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H30～R3
③ 青のり養殖に関する技術開発事業	需要が高まっている養殖青ノリ(ヒトエグサ)の増産のため、養殖網への種苗の付着状況を迅速かつ簡易に確認する技術開発等を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29～R1
④ 三重県産マガキ種苗の安定確保対策事業	県内でこれまでに行われた天然採苗の知見を参考に、より効率的なマガキ天然採苗技術の開発を行い、県内産種苗の安定確保を図る【三重県カキ養殖広域水産業再生委員会委託】。	養殖・環境研究課	H30～R2
⑤ 地場種苗・健康診断・経営戦略でピンチをチャンスに変えるマガキ養殖システムの確立	地場採苗によるマガキの養殖試験をはじめ、新たに共同研究機関が開発する養殖技術や知見を活用して、高品質なシングルシードマガキ養殖手法を開発する【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H30～R2
⑥ 希少な日本産アコヤガイの保全と採苗技術開発に関する試験研究事業	天然のアコヤガイが確認されている海域において生息調査を実施するとともに、天然採苗と飼育試験を行い、天然アコヤガイの保全手法の開発に取り組む【全国真珠養殖漁業協同組合連合会委託】。	養殖・環境研究課	H29～R2

競争的資金等外部資金(続き)

⑦ 耐病性や真珠品質にもとづくアコヤガイ選抜技術と育種素材の開発	国内の主要真珠生産漁場(三重県では英虞湾)において、耐病性や真珠品質にもとづく親貝の選抜等の技術開発を行う【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	養殖・環境研究課	H28～R2
⑧ 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業	低栄養状態でも色落ちしにくいノリ品種の実用化を進めるための室内培養試験および養殖試験を実施する。【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～R3
⑨ アサリ漁業復活のための大規模漁場整備・維持管理手法の開発	これまでに開発した碎石覆砂の漁場整備技術を活用して、大規模な漁場整備技術を確立するとともに、アサリの生残・成長が良好な漁場の維持管理手法の開発に取り組む【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H30～R2
⑩ (新規)新魚種等の種苗生産技術高度化研究事業	種苗放流や養殖生産による漁業生産の拡大が期待されている新魚種(カワハギとマハタ)を対象として、優良種苗の安定供給を行うための種苗生産技術の高度化を進める【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	R1～
⑪ 高DHA含有ブリの養殖実用化技術開発事業	飼料中のDHA等脂肪酸の含有量の最適化を進め、DHA含有率の高い高品質のブリを効率的に生産するための技術開発を行う【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構委託】。	尾鷲水産研究室	H29～R1
●資源評価調査事業費 ① 資源評価調査事業	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H12～
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。	資源管理・海洋研究課	H13～
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。	養殖・環境研究課	H30～R4

管理費等

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業試験研究管理費 ① 管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	
●水産業研究施設機器整備費 ① (新規)水産業研究施設機器整備費	水産研究所調査船「あさま」の中間検査を行う。	総務調整課	R1

水産資源・経営課執行委任

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(14502) 農水産物の安全・安心の確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費			
① 養殖衛生管理体制の整備	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室	H15～
② 水産物の安全の確保	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。また、ヒラメグダアを含めた養殖水産動物および放流用種苗の有害微生物による汚染の検査とまん延防止対策指導を行う。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	S55～
(31401) 高い付加価値を生み出す水産業の確立			
●真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業費			
① (新規)真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業	優良技術の継承や真珠の生産性向上のため、優秀な養殖業者の養殖技術の見える化及びICT等を活用したスマート化や環境予測技術の開発、導入などの技術開発に取り組む。	養殖・環境研究課	R1～3
●魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業費			
① (新規)魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業	三重県の魚類養殖業において他産地との競争力の強化と生産効率の向上を進めるため、養殖生産管理の自動化と最適化を行うAI・ICT技術の開発及び普及を図る。	尾鷲水産研究室	R1～3
●サミットのレガシーを活用した海女漁業活性化事業費			
① アワビ種苗放流技術高度化事業	海女漁業の収益性向上のため、コンクリート板漁場において、単価の高いクロアワビの種苗放流試験を行う等により、アワビ類の放流技術の高度化に取り組む。	沿岸資源増殖研究課	H29～R1
●三重ノリ生産・販売体制構築事業費			
① アサクサノリ生産・販売体制の構築	アサクサノリを本県の特産品とするため、安定した品質と生産量を確保するための養殖技術を確立する。	鈴鹿水産研究室/沿岸資源増殖研究課	H27～R1
② 黒ノリ生産体制の構築	三重県の漁場環境に適応した黒ノリ新品種の作出や製品の高品質化に取り組み、持続的な黒ノリ養殖業の実現を目指す。		
③ 青ノリ増産・安定供給技術の開発	健康食として注目される海藻類の増産を図るため、イトノリ類養殖技術の確立および現場普及を図る。		

フードイノベーション課執行委任

(施策31101) 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出			
●みえの食バリューチェーン構築事業			
① みえの食バリューチェーン構築事業	海藻等水産物の機能性成分の探索と機能性成分を活かした商品開発を行う。	企画・水産利用研究課/尾鷲水産研究室	H27～

漁業環境課執行委任

(施策31403) 資源管理・漁場環境保全等の推進			
●資源管理体制・機能強化総合対策事業			
① 三重県沿岸資源動向基礎調査事業	本県の沿岸水産資源の評価を行うとともに、各地区で取り組まれている資源管理計画について、収益性の視点も含め検証する。	資源管理・海洋研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室	H27～

水産基盤整備課執行委任

(施策31404) 水産基盤の整備・保全			
●県単沿岸漁場整備事業費			
① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査	浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蜻集状況等を調査する。	資源管理・海洋研究課	H24～
●海女漁業等環境基盤整備事業			
① (新規)漁港内水域を有効利用した藻類増養殖技術の開発	漁港内もしくは周辺の水域を活用して、有用海藻類の増養殖について実証試験を行う。	沿岸資源増殖研究課	R1～3
② (新規)漁港内水域を有効利用したアワビ類増殖技術の開発	漁港内の静穏水域において、コンクリート板を活用したアワビ類等の中間育成や増殖技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	
●伊勢湾アサリ復活プロジェクト推進事業費			
① アサリ資源調査	移殖用アサリ稚貝を採取する海域におけるアサリ稚貝の発生状況を調査するとともに、アサリに悪影響を及ぼすカイヤドリウミグモの生息状況を調査する。	鈴鹿水産研究室	R1

雇用経済部ものづくり推進課執行委任

(施策32203) ものづくり基盤技術の強化			
●文科省事業(エコシステム形成プログラム)			
① 深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト事業	深紫外LEDを用いた水産用海水の殺菌について、イセエビの飼育実験系などを用いて実証する。	沿岸資源増殖研究課	H29～R3